

地域活性化フィールドワークin会津

地域づくり活動のノウハウや経験談、リアルな悩みなど、身近な取組の現場見学やワークショップを通して学びます。

地域づくりを“もう一步”進めるヒントや、新たな仲間・想いを共有できる仲間がきっと見るかるはず！あなたも一緒に地域づくりについて考えてみませんか！？

開催日時 10/13 火 10:30～15:30
2026

場所 駒形地区公民館
(喜多方市塩川町中屋沢字竹の花1372番地1)

定員 20名程度
(職業、年齢等問いません。)



プログラム

- 10:30～ ➤地域づくりの取組紹介・見学 @駒形地区公民館内
12:00～ ➤ランチ ★お弁当を手配します。
※お弁当代(お一人1,000円)は当日集金します。
※昼食持参も可能ですので、参加申込みの際にお知らせください。
13:00～ ➤レクチャー&ワークショップ
(講師：宇都宮大学地域デザイン科学部 石井大一郎 教授)
15:30 ➤解散

参加無料！

こんな方に
オススメです！

- ☑ 町内会活動などに取り組んでいる方
- ☑ 地域を今より楽しくしていきたい方
- ☑ 地域づくり活動に興味はあるけどハードルを感じている方
- ☑ 新しいアイデアや仲間とのつながりをつくりたい方
- ☑ 他の地域の活動事例を学びたい方



人と地域の新しい“つながり”を見つけませんか！？

お申し込みはこちら(締切10月2日(金))

令和8年度地域創生総合支援事業
主催・運営：福島県地域振興課
お問い合わせ：☎ 024-521-7114 ✉ tiikishinkou@pref.fukushima.lg.jp



講師 & 見学先 紹介

講師

国立大学法人宇都宮大学地域デザイン科学部教授

石井 大一郎 氏



<プロフィール>

国立大学法人宇都宮大学地域デザイン科学部教授。コミュニティ政策学会関東研究支部支部長。慶應義塾大学政策・メディア研究科博士課程修了。博士（政策・メディア）。

建築設計事務所を経て、インド・中国を旅する。その後、中間支援NPOの理事兼事務局として15年間従事。2011年東日本大震災後は、岩手県大槌町、福島県二本松市などで復興支援事業に5年ほど関わる。2016年より現職。大学教員の傍ら、栃木県や福島県、神奈川県を中心に新しいまちづくり組織の立ち上げ支援や、地域交流拠点づくりなどに取り組んでいる。また、2022年より地域デザインセンター地域防災部長を務める。

一級建築士。専門社会調査士。

<福島県との関わり>

- ・福島県阿武隈地域振興協議会事業
「あぶくまづくり塾」講師（令和4年度～）
- ・二本松市集落支援事業
「対話によるまちづくり講座」講師（令和6年度）等

見学先

こまがた元気会

喜多市塩川町駒形地区の地域住民をはじめ、地域内の団体や有志が主体となり、令和元年に発足した地域づくり組織です。地域住民自らが地域の魅力や課題を見つめ直し、「住みよく元気な『こまがた』の創造」をスローガンに、地域の活性化や住民同士の交流促進に取り組んでいます。令和2年度に「こまがた元気ビジョン」、令和5年度に「こまがた元気プラン」を策定し、これらの計画に基づき、「農」「自然」「歴史・文化」「安全・安心」の4つを柱として、農産物直売や農業体験、自然体験、地域の歴史・文化の継承、交流・活動拠点づくりなど、地域資源を活かした多様な取組を住民主体で展開しています。



案内人

こまがた元気会 世話人

大平 正芳 氏



<世話人 大平 正芳 氏の「思い」と「こまがた元気会」>

人口減少や少子高齢化が進む中であっても、「住み慣れた駒形で、これからも安心して暮らし続けたい」という地域住民の思いを大切にし、地域のことを地域住民自らが考え、知恵を出し合い、力を合わせて地域をつくっていくことを大切にしています。こうした思いを共有する地域住民や地域内の団体・有志が主体となって活動する「こまがた元気会」では、「住みよく元気な『こまがた』の創造 ～田舎暮らしはステータス～」を将来像に掲げています。駒形ならではの豊かな農・自然、歴史・文化、人と人とのつながりなどの地域資源を改めて見つめ直し、その魅力を地域内外に発信することで、「駒形で暮らすことの価値」を高める取組を進めています。また、地域の課題を行政に任せるのではなく、住民一人ひとりが当事者として地域の将来を考え、できることから実践していくことを重視しています。地域内の世代や団体をつなぎ、新たな担い手を育てながら、地域資源を生かした様々な活動を展開し、次の世代にもつながる「元気な駒形の里づくり」を目指しています。